

児童発達支援 事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2024年 1月 16日

事業所名 こどもサポート教室「きらり」向ヶ丘校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	0	指導訓練室(38.5 m ²)内を児童に合わせてパーティションで区切って活動しています。	
	②	職員の配置数は適切である	3	1	職員の配置は、指定基準を遵守しています。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	1	3		事業所が2階にあるため、利用児童・保護者様には階段に注意していただくよう呼び掛けています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	教材や設備品の点検及び補修や消毒を常に行っています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	1	日々のミーティングなどで、支援や事務作業の反省点・改善案を話し合い改善実施しています。	
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0		ご協力いただいた事業所評価の結果を職員間で共有し、改善へ向けた取り組みをしていきます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0	定期的を実施し、ホームページのブログにて公表しています。	
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	4	外部講師の巡回を実施予定でしたが、感染症の影響を受け、未実施です。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	発達支援研究所の定例研修の他、外部研修にも積極的に参加してい	

					ます。研修内容は、校舎内で共有しています。	
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	社内の統一されたアセスメントシートを使用しています。保護者のご意見を伺い、支援計画に反映しています。	計画期間ごとにアセスメントを実施し、個別支援計画の作成をしています。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	社内の統一されたアセスメントシートを使用しています。	計画期間ごとにアセスメントを実施し、個別支援計画の作成をしています
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	1	特性に合わせ、詳細かつ具体的な支援内容を設定しています。	
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	支援計画に沿った内容になるよう、ミーティングにて話し合いをしています。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	校舎内で話し合い、プログラムを考案しています	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	校舎内で話し合い、ご利用者の状況を鑑み調整させていただいています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	4	0	保護者と話し合い、個別と集団の活動を組み合わせ実施しています。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	1	3	業務に合わせて随時ミーティングを実施しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0	4	業務に合わせて随時ミーティングを実施しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	支援記録をとり、職員間で情報共有をしています。	ミーティングにて児童の様子や支援内容を話し合い、改善に努めています

	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	事業所内・保護者を中心に実施しています。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	児発管と担当指導員が参加しています。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0	保護者のご要望や必要に応じて園訪問など実施しています。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	4	0		必要に応じて連携していきます。
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	0		必要に応じて連携していきます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	環境の変化や入園に向けて保護者様との相談の時間を設けています。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	環境の変化や入学に向けて保護者様との相談の時間を設けています。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	必要に応じて情報連携させていただいています。	感染症対策のため、現在はお電話や郵送にて実施しています。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	1	保育所等訪問支援を通して他児童との活動を観察・サポートさせていただいています。	ご利用児童の園や学校連携訪問を通して、定型発達児童との活動について幅が広がるよう、アドバイスをしています。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	1	3	感染症対策のため自立協議会には本年度は参加していません。ZOOM等で参加できる部会には参加しています。	
	㉚	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	支援後のフィードバックを毎回実施しています。その際に、ご自宅や園、学校の状況などについても	

保護者への説明責任等				傾聴するようにしています。		
	③①	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	1	3		事業所内相談、または他で時間を設け、対応についてアドバイスしています。
	③②	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	0	ご利用開始の前に、丁寧な説明を心がけています。	変更点がある場合は、適宜丁寧な説明を実施しています。
	③③	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0	個別支援計画を基にモニタリング表に説明に対して承諾のサインを頂いています。	
	③④	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	支援後のフィードバックの際や公式 LINE、電話、事業所内相談支援等でご相談に対しアドバイスをしています。	
	③⑤	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	3	感染予防等の観点から ZOOM で実施させていただきました。	試行回数が少ないこともあり、ご参加いただけない方が多々でございましたので、次回以降は考慮・調整させていただきます。
	③⑥	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0	支援の時だけでなく、保護者の困り感に応じて相談していただけるよう体制を作っています	相談内容は迅速に職員間で共有し、対応できるよう努めています。
	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	ホームページのブログや SNS にて活動内容を掲載しています	イベントなどは、ブログや SNS だけでなく校舎内の掲示板にてお知らせしています
③⑧	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	専用鍵付きキャビネットに保管しています。保護者や児童の目に触れない場所に設置しています。個人情報の取り扱いに関するマニュアルの策定をしています		

	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	保護者と職員間で情報を共有し、児童に合った方法を考えています	
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	4		現在は実施していません。
非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	マニュアル類は誰でも閲覧できるようにしています。毎月訓練を実施し、校舎内の掲示板やブログ、SNS にて発信しています	
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	児童も一緒に訓練を実施し、校舎内の掲示板やブログ、SNS にて発信しています。	
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	2	2	ご利用開始前の面談にて確認しています。また、支援の際に状況が変わっていないか確認をしています	
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	食物提供はしていませんが、面談にて確認をしています。	
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	事例があった都度作成し、職員間で共有できるようにしています。その際、日時、場所、気づきなども記載するようにしています。	
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	外部研修の機会も設け、校舎内で勉強会を開催しています。	
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	0	マニュアルを作成し、校舎内で周知しています	契約の際に、丁寧に説明し承諾をいただいています

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

児童発達支援 保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）

公表：2024年 1月 16日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」向ヶ丘校

保護者等数（児童数）： 10 回収数：8

割合：80%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7			1		指導訓練室(38.5㎡)を、パーティションで区切って活動しています。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	7			1		職員の配置は、指定基準を遵守しています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	1		1		必要に応じて、職員が付き添い・見守りをするようにしていきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8					活動に集中できるような環境づくりに努めます。
適切な支援の提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	7			1		お子さま・保護者様のニーズを的確に把握するため、日ごろから傾聴する場を一層設けていき、よりよい計画を作成できるよう努力していきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7			1		計画書の説明は丁寧に実施し、支援内容に反映できるよう職員間でのミーティングを都度実施していきます。
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8					日々のミーティングで計画内容を都度確認・意識し、支援内容に反映されるプログラムの実施に努めます。
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	8					児童に合わせたプログラムになるよう工夫していきます。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	6		1	1		感染予防の観点から実施していません。
保護者への	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8					
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基	8					

説明等		づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	5			3	事業所内相談、またはその他に時間を設け、対応についてアドバイスしていきます。
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7			1	話しやすい関係性作りや 分かり易い説明を一層心 掛けていきます。
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	7	1			事業所内相談だけでなく、いつでもご相談いただけるよう機会をつくっていきます。
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2		5	感染予防の観点から実施していませんが、今後計画していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	7			1	定期的にお話する機会を設けていただけるよう予定 を組むだけでなく、気軽に お声掛けいただけるよう環境作りに努めます。
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	8				
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8				ブログや SNS にて発信していますが、より分かり易いよう 校舎内でも掲示していきます。
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	7			1	専用鍵付きキャビネットに保管しています。保護者や児童の目に触れない場所に設置しています。個人情報の取り扱いに関するマニュアルの策定をしています。
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	6			2	マニュアルを作成し誰でも閲覧できるようにしています。訓練は毎月実施し、ブログや SNS、校舎掲示板にて周知しています。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4			4	児童も含めた訓練を実施していきます。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	7			1	児童が自発的に行きたいと思ってくれるように、楽しみながら学べるプログラムを考えるよう努めていきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	7			1	児童・保護者も含めご満足いただける様、今後とも丁寧な支援やフォローを実施します。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。